2-10-K10-7 腰部脊柱管狭窄症患者における年齢が身体機能とQOLに及ぼす影響

大塚市立総合病院リハビリテーション医学, 大塚市立総合病院整形外科

○柏木 智一, 横山 榎

【目的】1. 腰背痛患者の生活機能、QOL(特に運動機能、身体機能)に及ぼす影響を比較検討した。
2. 一般的に、腰痛患者のQOLは、若年層よりも高齢層の方が悪く、年齢が高齢層ほど劣る傾向があるとされる。

【方法】1. 計画は、横山・松井による方法を用いた。
2. 検査に使用したのは、QOLの一部を評価するための「腰痛症状尺度」を用いた。

【結果】1. 腰痛症状尺度の得点は、年齢別に比較すると、若年層の方が高かった。
2. この結果から、腰痛症状の改善に年齢が影響を与えることが示唆された。

2-10-K10-8 装具療法と手指運動機能の判定のためのダイナミックスプリント用計測デバイスの提案

【目的】1. 腰痛患者の手動運動機能の判定のための新しい方法を提案する。
2. これにより、腰痛患者の手動運動機能の判定がより正確に行われることになる。

【方法】1. 腰痛患者の手動運動機能の判定に用いるための新しい方法を提案する。
2. これにより、腰痛患者の手動運動機能の判定がより正確に行われることになる。

【結果】1. 新たな方法を用いて的確な判定ができることが示唆された。
2. これにより、腰痛患者の手動運動機能の判定がより正確に行われることになる。